



令和3年度 幸小学校 学校中間評価：結果



令和3年9月15日

学校評価は、教育活動・生活習慣・学習習慣を、保護者・児童・教職員が振り返り、それぞれの立場から現在の子どもの姿(子ども達は自分の姿)を評価するものです。そして結果を分析し、目標への到達の様子や課題について検証・考察することで、取組内容を改善し、重点目標の達成を目指していくものです。いただいたアンケートからは、数値だけではなく、保護者の皆様が抱く学校への共感や期待感も伝わってきます。

これらの結果をもとに、今後の学校経営の参考にさせていただきたいと考えております。今後とも変わらぬご理解とご協力よろしくお願いいたします。

令和3年度 重点目標

豊かに表現し、共に生きる幸の子

【のびのび ほかほか 幸小】

想像 と 創造

- 全くその通り
- ややその通り
- やや当てはまらない
- 全く当てはまらない
- 無回答

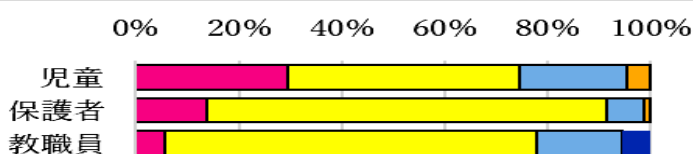


評価は4段階で、中間値は2.5となります。

平均値…総和(A=4, B=3, C=2, D=1, N=0) ÷ 回答数

想像

◎相手の気持ちや考えを想像して行動していますか。



昨年度に引き続き、今年度の重点目標の1つです。「他者意識」をもった言動ということ、子ども達には折に触れてわかりやすく伝えながら指導しております(下記ご参照ください)。少数ではありますが、「全く当てはまらない」という回答もありますが、今後も粘り強く指導を続けていきたいと考えます。

学校では以下のような指導を行っています

- ☆トラブルがあったとき、自分が言われたら、されたら、どんな気持ちになるか考えてみるように促す。
- ☆日々の指導の全てにおいて(もめごとが起きたときだけでなく、プリント配付や給食の配膳など、ちょっとした場面でも)
- ☆様々な場面で、「相手意識」を持つように指導している。
- ☆うまくできない友達のことを考えて行動できるようなルール。
- ☆自分の行動や言葉を振り返る声かけを心がける。
- ☆相手を傷つけたりしたときに考えさせる機会を持つ。
- ☆道徳の授業や、子ども達のトラブルがあったときに、その日のうちに必ず話す、話し合うようにしている。
- ☆分業や交代が必要な場面での声かけなど。
- ☆場面を捉えての指導。相手の気持ちを考えさせたり、自分だったらどう思うかを想像させたりする。
- ☆日常的な生徒指導で、行動等に対して自他の気持ちや「どうすればよかったのか」等を考えさせている。

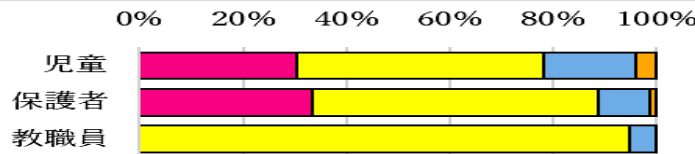
○自分の成長や課題について考えていますか。

○授業の流れを予想していますか。

○安全や健康について考えていますか。

創造

◎温かい言葉で、豊かに気持ちを伝えていますか。



左と同じく、今年度の重点目標の1つです。相手思いやった温かい言葉を、国語の時間等を通して豊かな語彙で的確に「伝える」ことを目標としております。児童会の「心あったか運動」や日常の指導(下記ご参照ください)を通して、優しい心と温かい言葉に満ちた学校にしていきたいと考えます。

学校では以下のような指導を行っています

- ☆できるようになったことを褒める。(優しいね、ありがとう、上手になったね、一生懸命がんばったからだね、など)
- ☆児童会活動をきっかけに、言葉について考えさせ、つかわせた)
- ☆感謝や相手を思いやる気持ちを児童が伝えてきたときは、こちら素直にうれしいという気持ちを伝える。
- ☆「ありがとう」「ごめんね」「あいさつ」の指導。
- ☆児童会の活動で、児童玄関前に貼ったり、お風の放送での呼びかけ等。
- ☆児童が言う取組に合わせて、委員の子ども達がクラスにも声かけした。
- ☆児童が嫌な言葉をつかったときには、それは嫌な言葉であると教え、以降はつかわないように意識づけさせながら、気持ちのよくなる言葉をつかったときには褒めて、またつかいたくなる気持ちをもたせる。
- ☆温かくなる言葉をつかった子を見た場合は、すぐ称賛するよう心がけている。

○自分の目標や将来の夢を持っていますか。

○最後まであきらめずに勉強していますか。

○感染予防やみんなの安全を考えて行動していますか。

毎日、本を読んでいますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



グランドデザインにも記載してありますように、60%以上の子が毎日読書をすることを目指しています。

学校では、音読の継続指導や朝読書の声かけ、読み聞かせや「おすすめの本」の紹介、教室に子ども達が興味を持ちそうな本を置くなどして読書の啓発をしております。

学力・学習の基本である国語、そしてその力を伸ばす上で読書の効果は大きいと言われています。ご家庭でも一緒に読書の時間を設けていただけたらと思います。

「早寝・早起き・朝ごはん」がしっかりできていますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



生活習慣の確立と学力の定着は、密接な関係にあります。朝ごはんを食べないと、脳のエネルギー源であるブドウ糖が不足するため、集中力が持続しないという実験結果も出ていますし、全国学力学習状況調査の結果にも表れています。そして早寝・早起きの習慣ができていないと朝食もとらない生活になってしまうことや、睡眠時間の不足も集中力の欠如につながります。

ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

目標時間以上の家庭学習をしていますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



★目標時間 = (10分×学年) + 10分

★児童の達成率 (A・B) = 77%

★保護者から見た達成率 = 59%

本人が「している」と思っている以上に保護者は「していない」と感じているという実態が浮き彫りになっています。お忙しい中、右の設問とも関連しますが、お子様方の家庭学習習慣を定着させるためにも、ご協力よろしくお願いいたします。

おうちの人が家庭学習(漢字練習)を確かめていますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



★児童から見ての達成率 = 69%

★保護者の達成率 (A・B) = 65%

お忙しい中、保護者の65%が肯定的な評価をされているということに感謝申し上げます。基本的に、漢字練習の確認をお願いしております。間違っているときや、丁寧に欠けるときにやり直しをさせてください。一度間違えて覚えてしまうと、修正するには何倍もの時間と労力を要してしまいます。学校でも指導を徹底しておりますが、ご家庭でもご協力よろしくお願いいたします。

将来の夢(仕事や、やってみたいこと)について考えていますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



学校だよりNo. 6 (8月27日発行)でも触れておりますが、将来に向けての夢や目標は、大きな動力となります。まだ小学生なので、現実的ではないものも勿論あるでしょう。発達段階に応じて変わりうるものと捉え、現在抱いている夢を尊重しながら、子ども達の成長を育んでいきたいと考えております。学校ではその一例として以下のような指導を行っております。

★身の回りに携わって仕事をしている人が、どのような思いで仕事をしているかなどを考えさせたり、自分の活動に目標をもたせたり、仕事の達成感を振り返らせたりしている。

★職業の紹介の本を教室に置き、折に触れて将来就きたい仕事などの話をしたり調べたりさせている。

ご家庭でも折に触れて将来の夢について語り合いながら、ご自身の経験や思いなども伝えていただけたらと思います。